

町技能職者表彰 平野さん、星野さん、由良さん、大谷さんの4人が受賞

「平成15年度播磨町技能職者表彰」が11月14日(金)、町長室で行われました。



▲(写真左から)大谷さん、由良さん、星野さん、平野さん

平野信一さん(北本庄) 1級寝具技能士。兵庫県知事より「ひょうごの匠」の認定を受ける。本綿にこだわった確かな技術と後継者育成活動が評価されました。

星野勝正さん(野添) 理容師。技術を磨き若年理容師育成に励み、理容師法を厳守した消毒方法の徹底が模範的活動として評価されました。

由良幸雄さん(北古田) 2級建築士。大工の道一筋の真面目な人柄が若い技能者のよい手本となり、高い技術を日々磨く姿は建築産業の発展につながるとして評価されました。

大谷秀子さん(大中) 美容師。労働大臣認定の上級着付師賞を受賞。新たな技術の習得に努力し、多くの美容コンクールに入賞。地域福祉活動にも積極的に貢献される姿が評価されました。

ふれあい池ウォークに120人



▲ため池を通じてふれあい交流

11月22日(土)、播磨町子ども会育成連絡協議会主催の「ふれあいため池ウォーク」が開催されました。

コースは町内11カ所のため池をまわる約10キロメートル。約120人の小学生とその家族の参加者は、水利組合の方からフナとコイの見分け方を教わったり、試験薬を使って水の酸度を調査したり、望遠鏡でヒドリガモなど鳥の名前を覚えたりして、ため池の魅力を再発見しました。

ぜひ、お立寄りください

レポーター 米谷 美代子さん



私がお待ちしています
(運営者の澤田さん)



▲趣のある入口

一子に、道路に面してさまざまな草花をかわいらしくガーデニングされたお宅があります。

澤田隆子さんが運営されている、ギャラリーと多目的少スペースを持つ「工房ぼえむ」です。

以前から、澤田さんは自宅を解放されて、自作の絵や、仲間同士で彫やパッチワークなどの作品を展示されていました。昨年11月に工房としてオープンしたそうです。地元の音楽仲間でミニコンサートを開催したり、地元ゆかりの方の絵画展を開いたり、播磨町の文化向上に尽力されています。

取材した日も播磨美術協会主催で、生前、内閣総理大臣賞を受賞した神前福正先生の遺作展が開催されていました。また播磨町出身で、日本初の新聞を発行して「新聞の父」として有名なジョセフ彦の資料展を、加古川の熱心な収集家の厚志により、来年春(ころ)に開催を予定されているそうです。澤田さんは、地元の方に気軽に利用してほしいと話してくれました。

第34回ジュニアオリンピック陸上競技大会で 中村君が優勝



▲記録が期待される中村君

10月24日(金)〜26日(日)に横浜市国際競技場で行われた、第34回ジュニアオリンピック陸上競技大会、110メートルハ

ードルのCクラスで播磨南中2年生の中村仁君(北本庄)が、14秒76の大会新記録で優勝しました。

同大会は同じ学年との競技で順位を争うもので、中村君は昨年、Dクラスでも優勝しており今年度で2連覇。今後の目標は3連覇ですかと聞くところ、「目標は日本中学記録を更新することです」と力強く答えてくれました。

フライングディスクで金メダル



▲教育長とガッチリ握手する岩竹君(右)

11月8日(土)〜10日(月)に静岡県で開催された「第3回全国障害者スポーツ大会わかふじ大会」のフライングディスク・アキユラシ―競技で、兵庫県立高等養護学校2年生の岩竹賀史君(北本庄)が金メダルを獲得しました。

岩竹君は競技を始めて1年で、県大会に優勝する腕前。「今後は他の競技でもメダルが獲れるように頑張りたい」と笑顔で話していました。

※アキユラシ―…規定投球数内で、いかに多くのフライングディスクを、直径170mmの輪に通すかを競う競技。

第26回播磨町子ども美術展が開催

11月22日(土)〜25日(火)、中央公民館で、第26回播磨町子ども美術展が開催されました。

今年は中学校からは67点、小学校からは365点、幼稚園からは園児全員の図画、立体作品などが出展さ

れ、約3000人が来場しました。

会場では制作時の様子を映したビデオが上映され、訪れた人は、生き生きとした子どもたちの様子とともに、展示作品に見入っていました。

ふれあい絵手紙

代表者 渡部 悦子さん



▲毎回ならんで指導を受けます



活動を始められたきっかけは?

ことぶき大学で絵手紙を学ぶ機会があり、ずっと続けたいと思いました。そこで、平成15年4月に「ふれあい絵手紙」サークルを立ち上げました。今もことぶき大学と同じ原富基子先生にご指導をいただいています。

グループのメンバーの特徴は?

サークルを立ち上げた当初は少人数でしたので不安で一杯でしたが、今では会員さんも30人をこえ

活動の内容について

毎月第1金曜日の午後1時から中央公民館に集まって活動しています。四季折々のテーマに沿って、花や果物の実物を見ながら描きます。時にはゆがめて描いたり、ちよっとした言葉を添えたりして楽しく学んでいます。

グループのモットーは?

これからも明るく楽しく生涯学習として、長く続けたいと思っています。

地域通貨を学ぶ

レポーター 門倉 敏子さん



▲熱心な勉強会

まちづくりの一環として「活動に役立てていきたい」とキャストは里まの塾生たちは意欲的でした。

実現までは時間がかかりますが、まだまだ入り口の段階ですが、あと2回詳しく勉強を重ねていくそうです。

県内では約30の地域や団体が地域通貨(通称「コマネー」)の普及に取り組んでいるそうです。

11月24日(月)、キャストはりま塾が地域通貨について学ぼうと、国土交通省の「地域振興アドバイザー制度」を利用して国から4人の専門家を派遣していただき、第1回目の勉強会を開催しました。

地域通貨を普及するためにはネットワーク(まちづくり、人づくり)が大切です。播磨町に適した地域通貨の制度や普及には準備期間が必要です。

地域政策研究センターの方にはファイナンズ面を中心に、また先進事例として千葉県のNPO「ピーナッツ」の運営委員の方には、立ち上げから運営までを説明していただきました。

企画調整課 広報係 ☎0794(35)0356

あなたに はつたつち

リレーエッセー⑥

息子の子離れ 娘の子離れ



前野 弘美さん
(宮北)

趣味
嵐のコンサート

息子が一人暮らしを始めて、8カ月がたちました。「かわい子には旅をさせる」と昔から言われていますが、会うたびに変わっていく息子を見て、なるほどと思いました。

一人暮らしをすすめたのは、ただ親の干渉から解放してやりたいという思いからだけでした。「自由には責任が伴う」とも、

「好きな事をやる分、行動には責任を持つように」とだけ言いました。

自由に浮かれて、さぞかし楽しく暮らしているだろうと思いきや、バイトと節約の生活。大学では、ボディビル部に入部し、先輩後輩の上下関係の厳しさも筋トレ、大会前のつらい減量、文字通り心身共に鍛えられてい

るようです。最初は「うちの子に何すんねん」とムカついていましたが、今では「いい勉強をさせてもらっている」と思うようになり、先輩方に感謝するようになりました。息子は、どんな親離れの階段を上っていく。私は、上を眺めながら子離れの階段に足をかけたような気がし

ます。一方、娘とは、本当について近くなって親しく話をするようになり、娘いわく「共通の話題がなくて何を話せばいいかわからんから喋らんかった」

私たちはジャニーズの嵐のファンになって、仲間でありライバルとして話をするようになり、もしも嵐が存在しなかったら、会話のない親子であり続

けたかもしれせん。しかし、中学生って親がうとうとくなくなる時期で、特に朝型の私と、夜型の娘では気分のいい時間が違うので、かみあわず、よくけんかになりかけます。

これから大人になって、親離れしていく娘、子離れできなくてしがみつくと母。足腰鍛えて歳ごまかしてついでに行きます、何処までも。娘には悪いですが、娘との子離れは無理です。この歳になっても実家の親とは、親離れ子離れできてないのですから。

子どもと親は遠く離れるほど、心の距離は近くなるような気がします。子どもの虐待や保険金殺人が新聞をにぎわしている。今、一緒にいても離れていても親子仲良くやっていけたらいいじゃないですか。

「ひかる泥だんご」



▲見て見て！こんな泥だんご

播磨保育園

小さな手のひらにすっぽりとおさまる泥だんごは、子どもたちの宝物。ピカピカになるまでもう少し！子どもたちの挑戦はまだまだ続いていくことでしょう。

5歳児が絵本にのっていた「ひかる泥だんご」を見て、見ようみまねで作り始めた泥だんごづくり。「うわあー！お兄ちゃんすごい」ピカピカの泥だんごを見つめる。4歳児の目は、キラキラとかがやいています。園庭では、この泥だんごを作ろうと何度も挑戦している子どもたちの姿が見られ、その輪はどんどん広がっています。

おもちゃつきで幼稚園の50周年をお祝したよ!!

播磨幼稚園

▼うわあーやわらかいね



▲よいしょ!

11月27日(木)、今日は「50周年おめでとうもちつき」の日。

力もちのお父さんや、ほんわかデーのおじいちゃん、おばあちゃんたちもたくさん応援に来てくれました。

みんなで気持ちをおわせて「よいしょ、よいしょ!!」お遊戯室は元気な子どもたちの声でいっぱい!!

年長児は、お父さんやおじいちゃんと一緒に、べったんべったんしたり、「一人でもできるよ」と杵を一人で持ち上げたりして、大満足でした。

そして、つきあがったおもちゃを「ふわふわ」や「あったかいなあ」と丸める子どもたちのニコニコ笑顔も見られました。

みんなのうれしい気持ちがいつぱいつまった「紅白のおもち」で、幼稚園の50周年をお祝いしました。

西小学校音楽会

▼大きな歌声が響きました



「ニッサンのエコー」のCM曲の作曲者が、9月に来町し、「音楽と平和について」の講演会を行いました。「エコー」のCMを竹ハチで筆を添えて演奏する意図を伝えたら、作曲者は「それはすごい!」と、実はそれとそっくりな楽器で演奏していたのだと、ぜひ良い音楽会にして頂きたい」と励まして

播磨西小学校

中国の楽器で洋楽も演奏しています。そこで、新学習指導要領の和楽器の活用をふまえて、箏・太鼓・三味線もいろいろな学年で活躍しました。子どもの感想に「楽しかったあ!」と。

11月15日(土)、音楽会が行われ、8つの音舞台が繰り広げられました。宇宙人との会話を構成した1年、CM曲「きのこの歌」から秋みつけを歌った2年、「涙そうそう」で沖繩の雰囲気をつくりあげた3年、鉄腕アトム誕生の年にちなんだ4年、クラシックメドレーに「ニッサンのエコー」のCM曲を挿入した5年、全国の若者に人気絶頂の「南中ソーラン」を採り入れた箏曲部、舞台狭しと動き回った太鼓座。

心を耕し 命を大切に!

播磨中学校



▲2年合唱コンクールより

11月は、校内行事やPTA活動で忙しい一カ月でした。7日(金)、「文化祭」では、各学年の歌声がびびくとも文化部の発表と展示、生徒会役員による劇も好評でした。

10日(月)、「防犯訓練」を実施しました。校舎に刃物を持った不審者が侵入したとの想定で、不審者への対応・安全確保・避難方法について学習しました。本年は、特に不審者の情報が多く、学校、家庭、地域をあげて、子どもたちの命を守っていかねばならないと考えています。

13日(木)、「道徳教育講演会」。元PL学園野球部清水 哲さんを迎え、白いボールのかわりに追う、人生の第2試合!

「野球ができなくなり、体も動かなくなつて、足もなくなつて、だけど『俺は俺』。何も変わらない...『勝ちの人生を』と、熱く語ってくれました。

わんぱくはりまっ子



荒堀 一輝くん(4さい) 斗真くん(2さい) 開人くん(2さい) 二子
兄弟仲良く、元気に育ってね(お母さんより)



このコーナーに出たいだく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(3歳~5歳対象) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらっても構いません。

子どもと“心地よい”時間を

子育て支援センター

取るように分かってきます。それは、いろいろな生活場面でも同じです。「なんでこんな事をするの?」と思う事も、子どもの様子をよく観ていると「そうだったの」と、意外な発見をする事がよくあります。自分の気持ちや、今やりたいと思っている事を分かってくれる人がまわりについてくれる事は、子どもにとってこの上なく心地よい事でしょう。

この心地よい思いをたくさん味わいながら、子どもは自分が愛され、大切にされている事を実感していきます。このことが、子どもが人を信頼できるようになる第一歩です。子どもと共に「心地よい」経験を重ね、豊かな信頼感を育てていきたいですね。